
感 想

岩崎 義則：九州大学文学部

私個人としては、本年度4月より九州大学文学部国史学研究室の助手に就任したことをもちまして、川勝班に分担研究者として参加させて頂くことになりました。同班の会議などに出席する中で、現在、パソコンを使った研究データの公開が、技術的にも相当な水準に達していることを知り、今後は、こうした研究データの公開を前提とした、歴史学研究の進歩を、真摯に考えなければならないのだと実感しました。目下、そうした自分自身の研究における研究データの作成と公開方法を具体的に勘案しておりますが、このような着眼点を明示していただいた川勝班、とくに、川勝先生には感謝しております。